

北海道医歌人会詠草



汚れ雪

江別 三宅 浩次

雪解けに嬉しさあれどその陰に汚れ雪なる哀しみもあり
新雪は汚れなき過去残雪は汚れ積もらす時間のしるし
残雪の断面白く足元の歩道に黒き滑り止めの砂
街なかに残る雪には汚れあり垣間見えるか生活の跡
春なればすべて汚れを吹き飛ばす風訪れて何事もなし

春を待つ

札幌 古屋 統

平原に薄墨色の編目見せ融雪剤の撒かれたる痕
平原を巨き刷毛もて刷きしごと融雪剤の撒布されたる
春遠き北見路行けば融雪剤玉葱畑に広く撒かれて
上川も空知平野も塩カルの撒かれて遅き春を待ちいる
馬逐われ廐が車庫に切替り耕運トラクター出番を待てる

パスポート

美唄 吉村 誠治

四冊目のパスポート取得に疲れあり己れの老いを今更に知る
期限切れのパスポートめぐり行きハイデルベルク・ウィーン懐かし
若き日の海外旅行を共にせし友らの写真時に悲しく
思ひ懸けし故宮博物院の観覧は音声ガイドと人混みの中
中国の永き歴史の感激は歩み行きつつ深まりて来る

ドロヤナギ

札幌 浜島 泉

立春はなほ十日先ドロヤナギ冬芽膨らみムクドリ群る
昨日朝我が滑りし所にて児童転べり雪凍る道
白樺の枝分かれ部に空巣ありいくばくの雛親離れせし
冬休み終りてバスが込み合ひつ生徒らの語り高笑ひ満つ
雪道は固くしまりて靴が鳴るバス来つるとも鳴るを聞きて行く

乱気雲

釧路 兎玉 昌彦

覚悟せし終馬のとき迫れるか寝たきりの兄、嚙下性肺炎
病室に見舞うも意識定まらず視線はうつろに宙をさ迷う
肺炎は治ったというが絶食のままに退院強いる現実
I・VHつけたるままの退院に施設入所の先行き暗し
自宅退院叶わぬ兄の病窓に異様に光る雲下り立たん

二羽の鴉

旭川 稲積 文子

日が暮れてビルの屋上で群れを待つ二羽の鴉は仲良く並ぶ
たそがれの屋上に浮かぶシルエツト新婚らしき鴉の番
民族の隔りはなし健康な笑顔が並ぶソチ表彰台
気配りのお化粧をして吾れを待つ一〇三歳の実子先生
締切りの日を数えつつ歌作する期末試験にも似た未消化な日々